

兵庫県のに漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 3号)

海域全般に、小型珪藻スケルトネマとキートセロスが発生しています。特に、神戸地先東部と神戸沖において、発生量が多い状況でした。窒素は、神戸市地先で概ね2~4 $\mu\text{g-at/L}$ 台、神戸沖で1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦地先で概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 台となっています。また、神戸地先東部と神戸沖では、リンの値も低下していました。

(水温) 神戸地先は平均10.4℃、神戸沖は平均9.8℃、東浦地先は平均10.3℃。

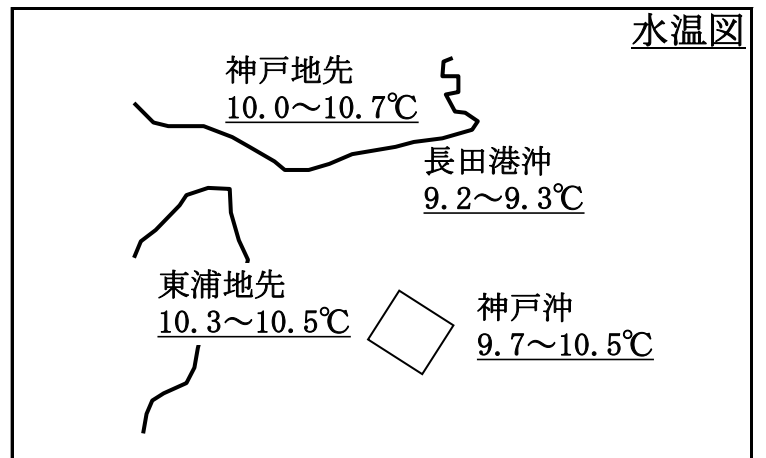
(塩分) 神戸地先：30.79~32.18psu。神戸沖：31.30~31.68psu。東浦地先：32.12~32.19psu。

(栄養塩、珪藻) 小型珪藻のスケルトネマとキートセロスが確認される。各海域における海水1mLあたり発生量は、神戸地先の西部で500~600細胞(-10m層：同値)、東部で1200~3500細胞(-10m層：400細胞前後)、神戸沖で2000~2500細胞(-10m層：200~900細胞)、東浦地先で600~700細胞(-10m層：同値)であった。また、東浦地先では、ユーカンピアがわずかに確認された。発生量の多い神戸地先東部と神戸沖において、表層ではリンの値が減少していたが、-10m層では発生量は少なく、リンの値も減少していなかった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	13.9	10.4	10.4	9.3
	窒素	11.4	3.3	7.9	3.3
	リン	0.58	0.33	0.38	0.12
神戸沖	水温	14.8	9.8	10.6	10.2
	窒素	4.2	2.1	4.5	1.9
	リン	0.56	0.15	0.36	0.31
東浦地先	水温	14.9	10.3	10.8	9.9
	窒素	4.3	1.3	4.0	0.8
	リン	0.51	0.27	0.38	0.15

(12/23)

(1/22)



栄養塩 (窒素) 図

2022年 1月27日調査

上げ始め (明石海峡：西流)

(神戸地先：止り)

調査時間； 8:07~10:30

